



学校だより第 10 号

令和 8 年 1 月 30 日

発行

大阪市立大開小学校

あきらめない心

2月3日の節分、4日の立春が近づいてまいりました。暦の上では春がやってきます。しかし、まだまだ厳しい寒さが続いており、春の訪れまではまだ少し時間がかかりそうです。防寒対策や感染症の対策もまだしばらくは必要です。どうぞご自愛ください。

先日の学習参観・作品展には、多数の保護者の皆様にご来校いただきまして、ありがとうございました。作品展では、子どもたち一人一人が豊かな想像力を発揮して作品と向き合い、工夫を凝らした図画や工作を完成させました。作品の背景にある子どもの思いやストーリーに想像を巡らせていただけたことと思っております。

さて、2月6日から、イタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォを主な開催都市として「2026年冬季オリンピック」（3月6日から「2026年冬季パラリンピック」）が、開幕します。テレビやニュースでも、代表選手たちの活躍が報じられ、胸を躍らせている子どもたちも多いのではないのでしょうか。オリンピック・パラリンピックは、単に「誰が一番速いか、強いかな」を競うだけの場ではありません。子どもたち（私たち大人も）に学んでほしい、気付いてほしい大切なメッセージが込められていると思います。

一つ目は、「目標に向かって努力し続ける姿勢」です。今回の代表選手たちは、前回の大会が終わってからの4年間、あるいはそれ以上の長い年月、一日も欠かさず厳しい練習を重ねてこられたことでしょう。思うような結果が出ず、悔し涙を流された日もあったと思います。それでも「夢」をあきらめずに挑戦し続ける姿は、私たちに大きな勇気を与えてくれます。大開小学校の子どもたちにも、自分の目標に向かって一步一步進んでいく大切さを感じてほしいと願っています。

二つ目は、「多様性と友情」です。オリンピック・パラリンピックには、世界中から異なる文化や背景を持つ選手が集まります。互いに全力を尽くして競い合った後は、健闘を称えあって握手や抱擁を交わす姿は、まさにオリンピック・パラリンピックの理想である「平和」と「連帯」の象徴です。自分とは違う考えや文化を持つ人々とともに高め合うことの素晴らしさを、ぜひ感じ取ってほしいと思います。

冬季オリンピックでは、坂本花織選手が出場するフィギュアスケートやスピードスケート、平野歩夢選手が出場するスノーボードやスキージャンプなど8競技116種目が実施される予定です。冬季パラリンピックでは、村岡桃佳選手が出場するアルペンスキーや小須田潤太選手が出場するスノーボードなど6競技が実施される予定です。また今大会では、新種目（山岳スキー）の追加や持続可能な大会運営（SDGs）への取り組みなど、新しい時代の形も示されています。

厳しい寒さが続きますが、選手たちの熱い戦いからエネルギーをもらい、子どもたちが心豊かに、元気に冬を過ごせるよう支援してまいります。ご協力お願いいたします。